

2019年12月新日本語能力試験

N1

言語知識 (文字・語彙・文法)・読解・聴解

Language Knowledge(Vocabulary/Grammar).Reading.Listening

(180 分)

注 意

Notes

1. 試験が始まるまで、この問題用紙を開けないでください。

Do not open this question booklet before the test begins.

2. この問題用紙を持って帰ることはできません。

Do not take this question booklet with you after the test.

3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。

Write your registration number and name clearly in each box below as written on your test voucher.

4. この問題用紙は、全部で 30 ページあります。

This question booklet has 30 pages.

5. 問題には解答番号の 1、2、3... が付いています。解答は、解答用紙にある同じ番号のところにマークしてください。

One of the row number 1. 2. 3... is given for each question. Mark your answer in the same row of the answer sheet.

受験番号 Examinee Registration Number	
-----------------------------------	--

名前 Name	
---------	--

- (1) ~あつての：因为有...才...。没有...就不能... 例：あなたあつての私です。/有你才有我。
- (2) ~（よ）うにも~ない：即使想（做）...也不能... 例：彼女の電話番号がわからないので、連絡を取ろうにも取れない。/因为我不知道她的电话号码，所以即使想联系也没有办法。
- (3) ~からといって：与反语、禁止等表达呼应，表示逆接，例：失敗したからといってくよくよするな。/虽说是失败了，但是也不能愁眉不展。
- (4) ~（た）からには：既然.....就 例：約束したからには必ずやる。/既然已经约定好了就必须做。
- (5) ~極（きわ）まりない：极其…… 例：間違い電話をかけてきて謝りもしないとは、失礼極まりない。/打错了电话居然都不道歉，真是太失礼了。类似的语法表达还有「~極まる/への極みだ」，都表示程度极端。
- (6) ~ことはない：没有必要.....；不会发生这样的事态 例：もう何も心配することはない。/没有任何担心的必要。
- (7) ~（名词）+次第だ/で（は）：取决于.....，要根据.....来定 例：同じ化粧品でも、使い方次第では効果が変わってくることがあります。/即使是相同的化妆品，根据使用的方法不同效果也会有所不同。另外经常考到的还有「次第に」「動詞ます形+次第（表示“一.....就.....”）」。
- (8) ~ずにすむ（ないですむ/なくてすむ）：表示“可以不必做原来预定要做的事”，“不用.....” 例：幸い友達がソファをくれたので、新しいのを買わなくてすんだ。/幸好朋友给了我一套沙发，所以我就不用买新的了。
- (9) ~ずにはいられない：不由得……，非……不可 例：誰でも彼女の魅力に心を奪われずにはいられない。/没有一个人不为她的魅力所倾心。
- (10) ~だけあって/だけのことはある：不愧是.....，到底没白..... 例：日本に5年住んでいるだけあって、日本語が上手だ。/不愧是在日本生活过5年，日语很好。 例：田中さんは英語が上手だ。アメリカに留学していただけたことはある。/田中英语很好。到底没白去美国留学。
- (11) ~たところ：（顺接）表示偶然的契机，前后出现的事物没有直接的因果关系。例：先生にお願いしたところ、早速承諾のお返事をいただいた。/我拜托了老师，老师立刻答应我了。
- (12) ~たりとも：就是...也不... 例：一刻たりとも油断できない。/就是一刻也不能疏忽大意。
- (13) ~つつ（も）：表示逆接，虽然...但是... 例：タバコは体に悪いと知りつつも、つい吸ってしまう。/虽然知道吸烟有害健康，但还是吸了。
- (14) ~（動詞ます形）つつある：正在..... 例：台風が近づきつつある。/台风正在靠近。
- (15) ~ではあるまいし/じゃあるまいし：也不是...，又不是... 例：神ではあるまいし、そんなことわかるものか。/（我）又不是神，怎么会知道那种事情。
- (16) ~といたらない：……得难以形容，……极了。用来强调心情或描述状态 例：企画立案というのは苦しい作業だが、自分の案が採用されたときのうれしさといったらない。/企划设计是个辛苦的工作，但自己的方案被采用时真是高兴得难以形容。
- (17) ~としたら/とすれば/とすると：表示假设，如果..... 例：一年間の休暇がとれたとしたら、どんなことがしたいですか。/如果可以休一年的假，你想做什么？
- (18) ~なしに（は）：（如果）不...就（不能）...，表示假定的条件，如果没有前项就很难有后项（后项经常使用动词可能态否定形）。例：部長の許可なしに休みを取ることができません。/没有部长的同意不能休假。与之意思相近的句型还有「~なくしては」「ないでは」。
- (19) ~にかけては：在.....方面，后项一般是说话人对某人或某物的正面评价，表示“某人或某物在.....方面是最好的” 例：足の速さにかけては、彼の右に出る人はいません。/在速度方面，没有人能比得上他。
- (20) ~に越したことはない：莫过于……，.....是最好的 例：体は丈夫に越したことはない。/身体健康是最好的。
- (21) ~に沿って：沿着.....，按照..... 例：川に沿って200メートルぐらい歩くと、右に灰色の建物が見えます。/沿着河走200米左右，在右手边就会看到灰色的建筑。
- (22) ~にして：①表示时间，阶段；手段，方法 例：一瞬にして燃え尽きた。/一眨眼就烧光了。②叙述事情发生的状态 例：生まれながらにして体が丈夫だ。/天生身体强健。
- (23) ~にしては：表示评价的标准，就.....而言 例：この子は小学生にしてはずいぶんしっかりしている。/这个孩子还是个小学生，却很沉稳。
- (24) ~にしても：表示让步，即使.....；无论..... 例：賛成するにしても反対するにしても、ちゃんと理由を言ってください。/赞成也好，反对也好，请好好说说理由。
- (25) ~にわたって/にわたる：表示时间或空间的范围 例：日本全域にわたって台風の影響が出ています。/日本全境都受到了台风的影响。
- (26) ~ばかりに：表示不好的原因（后项为意料之外的不好结果）例：風邪をひいたばかりに試験が受けられなかった。/因感冒没能参加考试。
- (27) ~ばかりか/ばかりでなく/だけでなく：岂止，不仅 例：英語ばかりか国語の成績も悪い。/不仅是英语，就连语文的成绩也不好。
- (28) ~もさることながら：自不必说...，不言而喻... 例：外見もさることながら中身も素晴らしい。/外观就不必说了，内在也是极好的。
- (29) ~ものなら：①「う・よう・まい+ものなら」表示如果要.....的话，后项一般是比较严重的事情 例：悪口を言おうものなら、すぐに返しをされるだろう。/如果说坏话，很快就会被报复的。 ②「表示可能意义的词+ものなら」表示如果能.....的话。虽然可能性很小，但是说话人还是有强烈的愿望。 例：できるものなら、やってみなさい。/如果能办，就做做看。
- (30) ~を皮切りに：表示以某项活动、某事为开端相继发生了类似的事情，以.....为开端 例：あの歌手は大阪を皮切りに、全国でライブを行った。/那个歌手以大阪为开端，在全国举行了演唱会。
- (31) ~を機に：表示以.....为契机，借.....机会 例：結婚を機に、仕事をやめた。/以结婚为契机，离职了。
- (32) ~を問わず：无论……，不管.....。前项经常接表示正反意义的名词或者包含程度差异的名词 例：男女・学歴を問わず申し込みを受け付ける。/不分性别和学历，都可以报名。
- (33) ~をめぐる/をめぐり/をめぐる：围绕..... 例：事件の真相をめぐる、捜査が行われた。/围绕着事件的真相，展开了搜查。
- (34) ~をもって：以...，用...，到...，告一段落 例：あの小説家は名文をもって知られる。/那个小说家因为一篇很有名的文章而被大家所知。
- (35) ~を余儀なくされる：表示被动，被迫..... 例：大型台風の接近によって旅行の中止を余儀なくされた。/由于大型台风的临近，不得不中止旅行。
- (36) ~を余儀なくさせる：表示使役，迫使.....不得不..... 例：大型台風の接近が旅行の中止を余儀なくさせた。/大型台风的接近迫使（我们）中止旅行。

第一部分 語彙・文法

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. 彼はその話を披露するチャンスをうかがっていたようだ。
1. ひろ 2. ひろう 3. ぱくろう 4. ぱくろ
2. 力を入れたら砕けてしまった。
1. くだけて 2. かけて 3. はじけて 4. さけて
3. 年をとって、物に執着する気持ちが少なくなった。
1. しゅちゃく 2. しちゃく 3. しっちゃく 4. しゅうちやく
4. 債務の状況を確認する。
1. さいむ 2. ざいむ 3. せきむ 4. ぜきむ
5. 鈴木氏の研究は物理学の発展に大いに貢献した。
1. こうかん 2. こうけん 3. こかん 4. こけん
6. 昨日の彼の態度は、実に潔いものだった。
1. きよい 2. とうとい 3. いさぎよい 4. こころよい

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

7. 森選手は記者会見で今シーズン限りで引退することを()した。
1. 証言 2. 開示 3. 供述 4. 表明
8. 政治家の高木氏は、全国各地を飛び回って()講演を行い、政策への支持を呼びかけた。
1. 圧倒的に 2. 精力的に 3. 急進的に 4. 普遍的に
9. 友人に預けてきたペットのことが()で、旅行はあまり楽しめなかった。
1. 手つかず 2. 臆病 3. 気がかり 4. 迷惑
10. このグラフは、この10年間の市の人口の()を示したものです。
1. 推移 2. 過程 3. 転換 4. 変容
11. 予算が減らされたことにより、その事業は継続が()いる。
1. 損なわれて 2. 恐れられて 3. 崩されて 4. 危ぶまれて
12. この箱の中には本が詰まっていて、()重い。
1. ぐらぐらと 2. どんよりと 3. ずっしりと 4. じめじめと
13. 二つの商品を並べると、それらの違いは()としていて、片方は偽物だとすぐに分かる。
1. 歴然 2. 整然 3. 続々 4. 堂々

問題3 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

14. 新人でいきなり主役に選ばれるのは異例のことだよ。
1. 珍しい 2. めでたい 3. 立派な 4. 幸運な
15. 木村さんは新しい薬を開発するための実験に打ち込んだ。
1. 失敗した 2. 苦勞した 3. 協力した 4. 熱中した
16. 池田さんはお金に関してルーズな人だ。
1. けちな 2. だらしない 3. 無関心な 4. 厳しい

17. 祖父は学生時代に体験した不思議な出来事をつぶさに語って聞かせてくれた。

1. のんびりと 2. 繰り返し 3. 詳細に 4. 懐かしそうに

18. 高橋さんの話は脈絡がない。

1. うそ 2. 終わり 3. 面白み 4. つながり

19. 次の会議で新しいプロジェクトについて吟味することになっている。

1. 決定 2. 提案 3. 検討 4. 報告

問題 4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

20. 要望

1. 宇宙飛行士になるという子どものころからの要望がついに実現した。
2. 市民の要望で、交通量の多い道に新たに道路標識が設置された。
3. 必要な書類をすべて窓口に出せば、パスポートの要望ができる。
4. 進学か就職か迷っていたが、両親と相談し、担任の先生に進学の要望を出した。

21. 覆す

1. どんなに若いころに戻りたくても、年齢を覆すことはできない。
2. 予定を覆してもいいなら、先に買い物に行きましょう。
3. 記入後はアンケート用紙を覆して、裏面を上にして置いてください。
4. これまでの定説を覆すような新しい研究結果が発表された。

22. 繁盛

1. 駅前のスーパーは安いと評判で、とても繁盛している。
2. 都心に向かう道は通勤ラッシュの車で繁盛し、なかなか前に進まない。
3. 久しぶりの同窓会は、歌やおしゃべりで大いに繁盛した。
4. この国の経済は10年の間に急速に繁盛してきた。

23. くじける

1. 年を取っても体力がくじけないよう、毎日運動している。
2. 庭の草花が暑さでくじけないよう、一日に何度も水をやっている。
3. 失敗してくじけそうになった時、親友が励ましてくれた。
4. 今は晴れているが、午後は天気がくじけそうだから、傘を持っていこう。

24. ひたむき

1. 科学技術のひたむきな進歩のおかげで、我々の生活は便利になった。
2. この時計は百年もの間、この家でひたむきに時を刻んできた。
3. 早朝から雪がひたむきに積もり、すでに1メートル以上になっている。
4. 転んでもゴールに向かって走り続ける少女のひたむきな姿に感動した。

25. 互角

1. 今回のプロジェクトで得た利益は、メンバー全員で互角に分配した。
2. 決勝に残った選手たちの実力は互角だから、誰が優勝するか分からない。
3. いつも出張で使うホテルが満室だったので、互角の料金のところを見つけた。
4. エアコンが壊れているみたいで、室温が外の気温と互角になってしまった。

問題5 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26. 不況の影響で、多くの企業が事業の縮小や延期、さらには事業からの撤退()余儀なくされている。

1. を 2. で 3. と 4. に

27. 一度ついてしまった癖は、()簡単には直らないものだ。

1. そう 2. たとえ 3. そのうち 4. いったい

28. 半年後に大学受験()、アイドルの西田アキは現在活動を休止している。

1. を基にして 2. を控えて 3. をもって 4. をめぐって

29. 結婚20年目の記念に、娘が遊園地のペアチケットをプレゼントしてくれた。いまさら夫婦二人で遊園地()と思ったが、行ってみたら意外と楽しめた。

1. にすぎない 2. ならではだ 3. でもあるまい 4. のようなものだ

30. (手紙で)年末を迎え、お忙しい毎日をお過ごしのことと()が、お変わりありませんでしょうか。

1. いたします 2. 承ります 3. 存じます 4. 申し上げます

31. 駐車場に着いて、車から()、ザーッと大粒の雨が降ってきた。

1. 出るようにしたとたん 2. 出ようとしたとたん 3. 出るようにするにつれて 4. 出ようとするにつれて

32. 取引先との打ち合わせで、「御社で」と()、誤って「弊社で」と言ってしまう、相手を混乱させてしまった。

1. 言うのにひきかえ 2. 言ったことにしても 3. 言うべきところを 4. 言ったつもりはないのに

33. この映画は主役の演技が良くない。ほかの俳優については()、実にもったいない。

1. 文句のつけようがないのか 2. 文句のつけようがないだけに
3. 文句をつけずにはいられないのか 4. 文句をつけずにはいられないだけに

34. こんなに天気良くなるなら、レインコートなんて、着て()。

1. きたんだった 2. くるんだった
3. きたんじゃなかった 4. くるんじゃなかった

35. 夕方の飛行機で帰ろうと思っていたが、台風の進路によっては午後の便がすべて欠航に()。今夜の宿を探しておいたほうがよさそうだ。

1. なるにこしたことはない 2. なりそうですらない
3. なっているはずがない 4. ならないともかぎらない

問題6 次の文の★に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

36. 先生に薦められた文献は難しくて、ひと通り読むことは★ _____ と言えない。

1. が 2. あまり 3. 読んだ 4. 理解できた

37. 今日は予定が詰まっていて、食事をする★ _____ 一日だった。

1. のも 2. くらい 3. 忙しい 4. 時間が惜しい

38. 自分のこと _____ ★ _____ のは我慢できない。

1. について 2. ともかく 3. なら 4. 家族や友人を悪く言われる

39. 食に関して、これだけは _____ ★ _____ 誰にでもあると思う。

1. こだわりを 2. 持つことは 3. 譲れないという 4. 何かしらの

40. 人気のランニングシューズが欲しくて____ ★ ____結局買えなかった。

1. 残っていても 2. 売り切れているか 3. サイズが合うのがなかったり 4. スポーツショップを数軒回って探したが

問題 7 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、41 から 45 の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

以下は、小説家が書いた文章である。

「好き」という言葉の罣

「好き」という言葉は曖昧だ。意味が曖昧なわけではない。言葉に込められる感情の強さの度合いがはっきりしないのだ。ないよりはあったほうがいいという程度の「好き」もあるし、それを奪われたり失ったりしたら死んでしまうかも知れないという強烈な感情や意志を伴う「好き」もある。私事で恐縮だが、わたしは小説を書くのが好きではない。じゃあ嫌いなのかというとそうでもない。おそらくそれがなくては生きていけないくらい重要で大切なものだが、非常な集中を要するのでとても好きとは言えないのだ。 41 小説を書くことは好きという言葉の枠外にある。

子どものころから文章を書くことは得意だったが、好きではなかった。もし自分が小説を書くことが好きだったらどうなっていただろう、と考えることがある。もし好きだったら、たぶん日常的な行為になっていただろう。つまり小説を書くことが自分にとって特別なことではなくなっていただろう。 42 小説を書くことそのものに満足を感じるようになったかも知れない。執筆が日常的な行為と化すこと、書くことそのものに満足すること、いずれも予定調和（注1）に向かう要因となる。わたしにとっては忌避すべきことだ。

「好き」という概念を 43 。だが好きという言葉は自家撞着（注2）・満足の罣に陥りやすい。程度の差はあっても、好きという感情には必ず脳の深部が関係している。理性一般を司る前頭前皮質ではなく、深部大脳辺縁系や基底核が関わっている。「好き」は理性ではなくエモーショナル（注3）な部分に依存する。だからたいていの場合、本当に「好きなこと」「好きなモノ」「好きな人」に関して、わたしたちは他人に説明できない。なぜ好きなの？どう好きなの？と聞かれても、うまく答えられないのだ。「好き」が脳の深部から湧いてくるもので、その説明を担当するのは理性なので、そこに本来的なギャップが 44 、逆に、他人にわかりやすく説明できるような「好き」は、案外どうでもいい場合が多い。

「なぜあの人が好きなの？」「お金持ちだから」というようなやりとりを想像すればわかりやすいが、説明可能なわかりやすい「好き」は、何かを生み出すような力には 45 。

（注1） 予定調和：ここでは、創造的でない状態

（注2） 自家撞着：自己矛盾

（注3） エモーショナルな：感情の

41. 1. わたしも 2. わたしなら 3. わたしにとって 4. わたしはというと

42. 1. 実は 2. 確かに 3. とはいえ 4. もしかしたら

43. 1. 否定してすらいない 2. 否定してはいまいか 3. 否定していたとしよう 4. 否定しているわけではない

44. 1. 生まれそうだが 2. 生まれるのはいいが 3. 生まれるからだが 4. 生まれるかどうかだが

45. 1. なれないという点だ 2. なり得ないのだと思う 3. なってはいけないらしい 4. ならずに済むのかもしれない

第二部分 読解

問題8 次の(1)から(4)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1). 以下は、ある会社がホームページに掲載したお知らせである。

株式会社フジハルク>お客様へ大切なお知らせ	
2019年10月1日	株式会社フジハルク
家庭用エアコン「A42-C4」の再修理のお知らせ	
日頃は弊社製品をご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。	
この度、家庭用エアコン「A42-C4」について、弊社が2019年4月から8月の間に行ったホース修理の際に使用した金具に不具合があることが判明しました。そのため、その期間に修理をした製品に対して再修理を実施させていただくことになりました。	
つきましては、再修理の対象となるお客様には、弊社製品の修理を行っております関連会社「FH エンジニア」より直接電話にてご連絡させていただきます。	
なお、本件に関するお問い合わせは、弊社お客様センターまでお願いいたします。	
お客様には大変ご迷惑とお手数をおかけしますことを深くおわびいたします。	
何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。	
株式会社フジハルク お客様センター：0120-333-4585	
[受付時間 10:00-18:00 土日祝休み]	

46. 「A42-C4」の再修理について、このお知らせで伝えたいことは何か。

1. 再修理の対象となる人はお客様センターに連絡してほしい。
2. 該当する期間にホース修理をした人に、関連会社から連絡がある。
3. 該当する期間にホース修理をして、その後不具合が生じた人は、お客様センターに連絡してほしい。
4. 該当する期間以外にホース修理をした人に、関連会社から連絡がある。

(2). 目的地を目指して走るだけでは、人生というのはもったいないのではないか。私は散歩することが好きなのだが、散歩というのは、ゴールをめざして邁進することの対極（注）にある。むしろ目的に縛られていたのでは見えてこないものへと心を開いていなければいけない。ちょっとした季節の移り変わり、鳥の声、こちよい風。店先からパンを焼くにおいなどが漂ってくると、それだけで幸せな気持ちになる。人生にも、こんな味わいがあるだろう。

（注）対極：反対の位置

47. 筆者が言いたいことは何か。

1. 目的を持っていては、豊かな人生が送れない。
2. 目的の一つだけに限定しなければ、充実した人生になる。
3. 目的の達成ばかりを考えていては、人生を十分に味わえない。
4. 目的が達成できなくても、自然を感じて生きれば幸せな気持ちになる。

(3). 子どもたちは、教師から「自分で考えなさい」「人の真似をしてはいけません」ということを明示的にも、暗黙的にも示されると、「人の真似ではない」という「真似」をすることを学ぶようになる。例えば、自分自身の気持ちとは裏腹に、あえて「人とは異なる発言、あるいは行動をする」ことを学んでいく。この学びが模倣ではないとどうして言えようか。一見個性的、一見創造的に見える仮面をつけた模倣は、明らかな「形」の模倣とは異なる故に、その実体が見えにくい。

48. 仮面をつけた模倣とは、どのようなものか。

1. 誰の真似もしていないように見える模倣
2. 教師の真似をしているように見える模倣
3. 自分の気持ちに反してする模倣
4. 実体を見せないための模倣

(4). かつては「必要は発明の母」であった。技術は物質的な欲望から出発したのは事実だが、「必要」という精神の飢えが「発明」という物質的生産へと導いたことを忘れてはならない。精神が物質をコントロールしていたのだ。しかし、現代は「発明は必要の母」となった。「発明」品を改良して新たな機能を付加することにより、人々に「必要」であったと錯覚させ、消費を加速したのである。必要と発明の関係が逆転し、物質が精神を先導するようになったと言える。

49. 筆者によると、現代とはどういう時代か。

1. 人間は、「必要」な物は何でも「発明」できると錯覚している。
2. 人間は物質的に豊かになったのに、新たな「発明」品を求め続けている。
3. 「発明」された物によって、人間の精神が影響を受けている。
4. 「発明」品は、人間の精神の飢えを満たすために改良され続けている。

問題 9 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1). 私たちは頭の中で「考える」とき、決して論文のように筋道の立った記述のように考えるわけではない。たとえば私の評論を書くときの経験では、論旨のエッセンスとなるような直感とか、ハイライト（注1）部分の「決め」になるようなフレーズ（注2）を思いついたときに「これは書ける」なんてわくわくして思い立つのである。つまり、その瞬間の頭に浮かんだものは、ばらばらな断片と大まかな展望に他ならない。そのピンポイント（注3）の断片と他の断片との間を、スムーズな説得力のある流れになるように継ぎ足していく作業が「書く」という仕事である。

しかし、スムーズにつながぐことに集中しすぎると、もとの目的地から逸れた方向へ論旨が勝手に伸びていってしまうことが、まま（注4）ある。（中略）ひとは書こうとしていたことをきちんと書けるわけではなくて、むしろ積み木のように書き足しているうちに、最初は書こうともしていなかったことを知らず知らずに書いてしまうことが少なくないのである。そのくせ書き上げてしまうと「そうか、自分はこういうことを考えていたんだ」などと思えてくるから不思議だ。

私たちの意識は、言葉とイメージの網の目をふわふわ漂っているようなものである。それが言葉や文章に定着したとき、「考え」というものになる。言葉を抜きにして「考え」は存在しない。順序として「考え」がもともとあったから言葉が出てくるのだと思いがちだが、逆に言葉が出てきて初めて「考え」ははっきりするものなのである。だから言葉の運動が勝手に作り上げてしまった論旨が、いつのまにか自分の「考え」になってしまうという現象が起こるわけだ。

（注1）ハイライト部分：ここでは、重要な部分

（注2）フレーズ：ここでは、言葉や表現

（注3）ピンポイントの：ここでは、中心となる

（注4）まま：時々

50. 筆者によると、書くとはどういうことか。

1. 直感や思いつきを頭に浮かんだ順に並べていくこと
2. ばらばらな断片を直感に基づいてつないでいくこと
3. 頭に浮かんだ断片を筋道を立ててつないでいくこと
4. 論理的に考えたことをスムーズな流れに並べていくこと

51. 不思議だとあるが、なぜか。

1. 考えていたことが書けていなくても、書けたように思えてくるから
2. 書くことに集中しすぎないほうが、うまく書けたと思えてくるから
3. 書き足しているうちに、自分の考えがより深まったと思えてくるから
4. 書き上げたものが、初めから考えていたことであるかのように思えるから

52. 筆者の考えに合うのはどれか。

1. 言葉にすることで、自分の「考え」が出来上がる。
2. 言葉が作り出す「考え」は自分の「考え」ではない。
3. 「考え」が存在して初めて、書き進められる。
4. 意識によって「考え」を言葉にすることができる。

(2). イギリスの科学誌『ネイチャー』の最近の号に、カエルの種多様性と寄生虫の感染率についての論文が載っています。カエルの全数は同じで、特定の1種類しかいない場合と、数種類のカエルが共存する場合で、ある種のカエルが寄生虫に感染して発病する割合は、前者のケースのほうが高いという内容です。つまり多様性が高いと特定の種が病気になる割合が下がるということです。

(中略)

他の種が存在することによって自分が病気になる確率が下がるとするのなら、それぞれの種は互いの種を競争で滅ぼしてしまわないほうが自分も得をします。もしかすると、自分たちの使う資源を他の種に譲ってでも、それを存続させることが有利になるかもしれません。アリのような種内での協力と同様、いくつもの種がコストを払って共存し合うことで、それぞれの種が得をしている可能性があります。種のレベルを超えた協力と言えるかもしれません。

この話がさらに面白いのは、それが寄生虫という、カエルを滅ぼしかねない要因とリンクして起こっている点です。寄生虫の側から見た場合、感受性の（感染する）カエル1種だけのときは、どの個体へも感染でき、そこで成長できますから、短期的な寄生虫の増殖率は高くなるでしょう。しかし、全部のカエルに感染して殺してしまうと寄生できる相手がいなくなるため、寄生虫も滅びなくてはならなくなります。したがって、いろいろなカエルがいることは、寄生虫にとっても、自身の長期的存続を可能にするメカニズムとして働いているのです。

53. カエルが寄生虫に感染して発病する割合が低いのは、どのような場合か。

1. 1種類の寄生虫しかいない。
2. 1種類のカエルしかいない。
3. 数種類の寄生虫が共存する。
4. 数種類のカエルが共存する。

54. 種のレベルを超えた協力とはどのようなものか。

1. 他の種に自分の種の病気を広めない。
2. 他の種とともに、ある特定の1種類を減ぼす。
3. 自分の種の存続より他の種の存続を優先させる。
4. 多少の犠牲を払っても、他の種の存続を助ける。

55. 寄生虫について、筆者はどのように述べているか。

1. 感染するカエルが1種類だけだと、寄生虫自身も絶滅してしまう。
2. 感染するカエルが1種類だけだと、長期的に寄生虫の増殖率が高まる。
3. 感染するカエルが多種類だと、寄生虫自身も絶滅してしまう。
4. 感染するカエルが多種類だと、一時的に寄生虫の増殖率が高まる。

(3). 今、モノづくりの過程を「見える化」と称して可視化(注1)、数値化し、技やノウハウを共有化したり、さらには自動化して人を減らそうという動きが盛んになっています。けれど、この過程には大きな危険が潜んでいることを認識しなくてはなりません。

モノづくりには、手づくり、手作業の要素が非常に重要です。経験、勘に基づく技は体で覚えるしかありません。見える化しようとする、すべての作業をデジタル的に数値化することになります。しかし、勘や経験による手作業は数値化できません。また、どんな思いを込め、どんな気持ちでつくっているかという心の部分は数値にしようがありません。

(中略)

見える化の過程には「省略」と「変形」が起きる危険性があります。怖いのは、一度、仕組みができ上がると、それが元の実態であるかのような錯覚を起こし、一人歩きしてしまうことです。見える化されたものは、元々の姿からアナログの部分が省略され、変形しているのです。これに気付かなければなりません。

もう一つの危険は創造が起きなくなることです。ある職人の技があったとします。これを見える化しても、そこからは何も新しいものや価値が生まれているわけではありません。

匠(注2)の技とは、自分で経験を積み、手で触り、頭で考えている中で、「こうしたほうがいい」「こんなやり方があるな」と気付き培ってきたものです。つまり、手作業のプロセスの中にこそ創造があるのです。

今のやり方を見える化、自動化し、手作業のプロセスを抜いてしまえば、新しい技術は生まれません。

(注1) 可視化する：目に見えるようにする

(注2) 匠：優れた職人

56. これとは何か。

1. 職人の経験や勘、心を「見える化」すると、変形してしまうこと
2. 職人の経験や勘、心を「見える化」する技術がまだないこと
3. 「見える化」されたものには、職人の経験や勘、心は含まれないこと
4. 「見える化」されるには、職人の経験や勘が必要であること

57. 筆者によると、新しい技術を生み出すのに必要なことは何か。

1. できるだけ多くのプロセスを手作業で行うこと
2. 優れた職人の技を「見える化」すること
3. 職人が「見える化」に取り組むこと
4. 手と頭を使って作業をすること

問題 10 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1. 2. 3. 4 から一つ選びなさい。

脳科学はヒトそのものの仕組みを明らかにしようとする学問です。そのため、その成り立ちから人々の耳目を引く（注1）ように運命づけられていると言えます。脳科学は、誰もが青春の一時期に悩む「自分って何だろう」という疑問に科学の力で挑むという、考えてみたら少し青臭い（注2）学問だったりするのです。

だからというわけではありませんが、人々の口に上りやすく、そのため伝搬のスピードも他の学問と比べて早いように思えます。特に、自己の知覚の裏をかかれる（注3）ようなさまざまな現象、たとえば錯視現象や無意識と意識の話などは、自己恒常性、つまり自分がいつも自分であり続けることに関わるだけに、他のどんな科学より人々の気持ちを驚掴みにします（注4）。そのせいで、脳機能を理解する前に現象だけが先走って人々の間に広がっていくことも多い学問です。もちろん、それは何より面白いからです。

そんな脳科学も、昨今の説明責任という考え方や社会還元という意味合いで、一般の人々へなんとか知見のフィードバック（注5）をしなければならない圧力にさらされています。少し前には、脳科学の研究成果が新聞に掲載されることはあまりありませんでしたが、今ではプレスリリース（注6）も当たり前に行われますし、そこではできるだけ面白く人々の興味をひきつけるストーリーを作りがちになります。本当はそういう色気は基礎科学に馴染まないのですが、メディアからの要請があると、僕たちはなんとかそれに応えようとして、浅薄な脚色をして本当の面白さをゆがめてしまいがちになります。

そういう「メディア対応」と呼ばれる技術も科学者に必要とされている現代は、ある意味で科学者にとって不幸な時代なのかもしれません。

（中略）

昨今の過剰なメディアの脳科学の取り上げ方は、科学者の説明責任を遥かに逸脱したレベルであるように思えるのです。そういうメディアの要求に、誠実に対応しようとすればするほど、科学者は自分をすり減らすことになるでしょうし、だんだんと科学の現場から乖離せざるを得なくなるでしょう。それは、優秀な科学者を潰すことになります。

科学者の価値は、何よりも科学の現場に居続けることにあります。科学的知見に裏打ちされない（注7）空論を弄ぶのではなく、常に研究の現場に自分をつなぎ止め、足を杭で打ち付けてでも科学の現実から離れないようにすること。そういう決意をもってメディアに対応するのであれば、フワフワと遠くに行ってしまうことはないでしょう。

（注1）耳目を引く：注意を引く

（注2）青臭い：ここでは、純粋すぎる

（注3）自己の知覚の裏をかかれる：ここでは、自分が思いもしなかった

（注4）驚掴みにする：ここでは、強く掴む

（注5）フィードバック：還元

（注6）プレスリリース：メディア向けの公式発表

（注7）～に裏打ちされる：～に裏づけられる

58. 脳科学について、筆者はどのようにとらえているか。

1. 他の学問より早いスピードで進歩している。
2. 人々の脳機能を高めることに貢献している。
3. 身近な疑問を扱っており、多くの人々に理解されている。
4. 脳の働きが理解されないまま、人々の興味だけが先行している。

59. そういう色気とは、どのようなことか。

1. 科学者が科学本来の面白さを前面に出そうとすること
2. 科学者が事実を実際より面白くして伝えようとする事
3. 科学者が一般の人々に分かりやすく科学を説明しようとする事
4. 科学者が新聞に掲載されるような興味深い研究をしようとする事

60. 現代のメディアと脳科学の現場との関係はどのようになっているか。

1. メディアが、研究内容に介入するようになってきている。
2. メディアの過剰な要求のため、研究の現場に負担がかかっている。
3. 脳科学に関する情報提供の機会が、メディアに奪われている。
4. 脳科学本来の面白さが、メディアに取り上げられなくなっている。

61. 筆者によると、昨今のメディアとの関わりにおいて、科学者はどうあるべきか。

1. メディアを自身の研究のために活用するべきだ。
2. メディアを通じて研究の現場から情報を発信するべきだ。
3. メディアへの対応よりも、研究を優先するべきだ。
4. メディアの要求には対応せず、研究の現場を大切にすべきだ。

問題 11 次の A と B の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

A

褒めれば人は育つといいます。確かに人間は叱られるより、認められたり褒められたほうが嬉しいに決まっていますし、「よし、次もがんばろう」とやる気も出るものです。リーダーだって、普段からガミガミ言うより、部下を褒めるほうが自分自身の気分も良いでしょう。

しかし褒めてばかりいると、今度は思わぬ弊害が出てくると私は考えています。確かに部下の士気は上がるのですが、逆に褒められることが目的になりかねない。「お前は偉いな」と課長に褒められたいから、仕事を一生懸命にやるようになってしまうのです。

(中略)

「良くやった」「偉いな」などという言葉は、たまに言うから効果的なのであって、日常的に口にしていたら効果は半減してしまうでしょう。要は褒めるところと叱るところ、リーダーはいつも人を見てバランスを考えなくてはなりません。

B

部下のやる気を引き出すようにうまく褒めるのは難しい。的外れな褒め方をすれば「自分をよく見ていない」と不信感を抱かせてしまい、皆の前で特定の人ばかりを褒めれば、チーム内の関係が悪化してしまうこともある。さらに褒め続けることで、部下が、仕事への責任感や使命感からではなく、上司に褒められることを目的にがんばるという状態になってしまう恐れがある。

このような事態を避けるために、上司には適切に褒める技術が求められる。部下が良い仕事をしたら、タイミングを逃さずその場で褒めることが効果的だ。また、成果だけを褒めるのではなく、仕事の過程の中で何が良かったかを取り上げて褒めることが重要だ。そうすれば、部下も評価された点を明確に自覚でき、次の仕事につなげやすくなる。

62. 部下を褒めすぎるものの問題点として、AとBが共通して述べていることは何か。

1. 部下同士の人間関係が悪くなること
2. 部下が上司に不信感を持ち、やる気をなくすこと
3. 部下が褒められるために仕事をするようになること
4. 部下が仕事で成果を上げることだけを目標にすること

63. 部下への接し方について、AとBはどのように述べているか。

1. Aは状況に応じて褒めたり叱ったりすることが必要だと述べ、Bは良い点をすぐに褒めることが大切だと述べている。
2. Aは叱った後には褒めるようにしたほうが良いと述べ、Bは適切なタイミングで褒めることが大切だと述べている。
3. Aはできるだけ叱るのをやめるべきだと述べ、Bは良いと思った点を率直に表現したほうが良いと述べている。
4. Aは分かりやすい言葉で褒めることが大切だと述べ、Bは仕事の過程の中で良かった点を褒めたほうが良いと述べている。

問題 12 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1. 2. 3. 4 から一つ選びなさい。

交換と交易（注1）の歴史は非常に古く、何万年も前までさかのぼれるようだが、貨幣経済は進化的に言えばごく最近のことである。どんなものにも変えることができる抽象的な価値とは、とんでもない発明だと思う。（中略）

それは、貨幣というものが、確かに人間の生活を変え、世界を見る目を変え、欲望のあり方を変え、人生観を変え、結局のところ人間性を変えてきているように思うからだ。貨幣経済の真ただ中で暮らしている私たちにとって、貨幣は当たり前存在だが、ヒトという生物にとって、こんなものの存在は決して当たり前ではなかった。そして、大量の砂糖や脂肪の存在に私たちの脳も体もうまく対応できていないのと同じく、この貨幣という存在にも、実は私たちの脳はうまく対応できていないのではないだろうか？

ヒトが狩猟採集生活をしていた頃、ヒトは自分たちの手で集められる食料を食べ、自分たちの手で作れる道具や衣服を使って暮らしていた。できることは限られていたし、望めることには限度があった。まさに等身大の（注2）生活である。それ以上の世界の可能性を知らなければ、欲望にも限りがあった。「欲しい物」というのは具体的な物であり、それを手に入れる方法は限られていた。そして、ヒトはそのことを知っていた。

しかし、何にでも交換できる抽象的な価値が手に入るようになると、それ自体を得たいという新たな欲望が生まれる。「金の亡者（注3）」は、何か特定の物が欲しいから貨幣を得るのではない。とにかく貨幣をためることが何にもまして大事な目的なのだ。そこには限度がない。

また、何にでも交換できる抽象的な価値は、人間関係を買うことも、幸せな気分を買うこともできる。貨幣がない時には、人間関係を築いていなければできなかったことが、個別の人間関係抜きに手に入る。逆に、貨幣なしではほとんど何もできない。

そして、今では、貨幣を手に入れることは一つの職業につくことである。一つの職場で一つの仕事をし、その対価（注4）に貨幣をもらう。そうすると、ヒトは、自分が独立して生きていると思う。本当は、今でも狩猟採集生活時代と同じように、みんなで共同作業をすることで生きているのだ。農家がいなければお米も野菜もない。物流や商店がなければ、買うことができない。医者がいなければ病気を治せない。学校の先生がいなければ教育ができない。今でも、みんなとともに生き、生かされて暮らしているのだが、それぞれに貨幣が介在しているので、共同という感覚がなくなる。便利なものには必ず負の面がある。ちょっと立ち止まって考えてみた方がよい。

（注1） 交易：ここでは、取り引き

（注2） 等身大の：その人の状況や能力に合った

（注3） 金の亡者：異常に金銭に執着する人

（注4） 対価：ここでは、報酬

64. とんでもない発明だと思うのは、なぜか。

1. 人間の脳の対応力を徐々に変えてきたから
2. 人間に抽象的な思考を強いるようになったから
3. 多様な人生観や人間性を生み出してきたから
4. 生活から考え方で人間のあり方を変えてきたから

65. 狩猟採集生活をしていた頃のヒトの欲望について、筆者はどのように述べているか。

1. 自分たちの日常しか知らなかったから、欲望は限られていた。
2. 自らの経験から欲望には限りがないことを知っていた。
3. 多くの欲望を持っていたが、それを満たす手段は限られていた。
4. 生きることが最優先だったから、欲望を持つ余裕がなかった。

66. 筆者によると、ヒトは貨幣を手に入れてどうなったか。

1. 人間関係に関心がなくなった。
2. 貨幣自体が欲望の対象になった。
3. 特定の物に対する欲望が強くなった。
4. 何が本当に欲しいのか分からなくなった。

67. 筆者が最も言いたいことは何か。

1. 貨幣を得ることだけが働く意味ではないと自覚することが必要だ。
2. 貨幣があることによって共同という感覚が必要ではなくなっている。
3. 貨幣によって失われている共同という感覚を忘れてはいけない。
4. 貨幣には人間関係を壊すという負の面もあることを忘れてはいけない。

問題 13 右のページは、ある助成制度の案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

68. この助成制度への応募に関して、留意しなければならないことはどれか。

1. この助成金の交付を過去に一度も受けていない団体である必要がある。
2. 助成を受ける事業は決められた期間内に実施しなければならない。
3. 合計を 30 万円以内にすれば、複数の事業について応募できる。
4. 団体によるプレゼンテーションを 1 次選考の際に行わなければならない。

69. ソンさんは十条市民による国際交流クラブの代表で、この助成制度に応募することにした。参加必須のもの以外は出るつもりはない。12 月 10 日の説明会に参加できない場合、ソンさんの応募方法として合っているのはどれか。

1. 12 月 19 日の説明会に参加し、提出書類を応募期間内にファクスで送る。
2. 12 月 19 日の説明会に参加し、提出書類を応募期間内に着くように郵送する。
3. 12 月 19 日の説明会と個別相談会に参加し、提出書類を応募期間内にメールで送る。
4. 12 月 19 日の説明会と個別相談会に参加し、提出書類を応募期間内に窓口に出す。

十条市 国際交流事業助成制度

2020 年度募集概要

趣旨 本制度は、市民が行う国際交流事業を市が助成し、国際交流を推進することを目的としています。

対象団体 国際交流活動を行う団体で、次のいずれにも該当する団体

- ・団体の主たる構成員が十条市民で、1年以上の活動実績があること
- ・過去3年以内に本助成金の交付を受けていないこと

対象事業 2020年4月1日から12月31日までの間に実施される事業で、「国際理解と国際協力」または「多文化共生社会の実現」に関するもの

助成額 1事業あたり30万円以内（1団体につき1事業のみ応募可）

提出書類 ①申請書 ②事業計画書

※当センターホームページよりダウンロードしてください。

応募方法 上記の書類を郵送していただくか、センター窓口にご持参ください。

（メール、ファクス不可）

応募期間 2020年1月10日（金）～1月28日（火）

※最終日必着（窓口持参は17時まで）

スケジュール

説明会 ①2019年12月10日（火）13:00～14:00



②2019年12月19日（木）13:00～14:00

応募を希望する方は、①か②のいずれかに必ずご参加ください。（予約不要）

個別相談会 2019年12月11日（水）～12月25日（水）30分程度



事業の内容等について担当職員が相談に応じます。（希望者のみ・要予約）

1次選考 書類審査。結果は2020年2月14日（金）までに応募者全員に書面で通知します。



2次選考 2020年3月7日（土）10:00～12:30



団体によるプレゼンテーションと、質疑応答

結果通知 2020年3月13日（金）までに2次選考参加者全員に書面で通知します。

お問い合わせ・送付先 〒614-3790 十条市西島2-21 十条市国際交流センター

国際交流事業助成担当 電話 0199-61-2257

第三部分 聴解

問題 1 では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

1 番

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ちぎれた部分を探す | 2. 本を修理する |
| 3. 同じ本を買って持ってくる | 4. 図書館に本の代金を払う |

2 番

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. デザイン変更の相談を業者とする | 2. 業者に納期の変更を依頼する |
| 3. 記念品の予算を再検討する | 4. 記念品を別の業者に注文する |

3 番

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 専門家と打ち合わせをする | 2. ツアーで登る山の候補を絞る |
| 3. 他社の類似ツアーに参加する | 4. 山周辺の観光スポットを探す |

4 番

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 駐輪場までの地図を作る | 2. 店の隣に駐輪場を造る |
| 3. 店の前に看板を立てる | 4. 店ののきさきに植物を置く |

5 番

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 自習用教材の作成 | 2. 受講生へのアンケートの実施 |
| 3. 新しい教材の内容のかくにん | 4. パソコンの設定変更 |

6 番

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. オンラインの共有フォルダーに保存する | 2. 印刷して、出席者に回覧する |
| 3. 印刷して、部長にたいしゆつする | 4. 発言者にメールで送付する |

問題 2 では、まず質問を聞いてください。そのあと、問題用紙のせんたくしを読んでください。読む時間があります。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

1 番

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. かぶきの知識を得ること | 2. 着物を着て出かけること |
| 3. 好きな役者をじかに見ること | 4. 劇の時代のふんいきを味わうこと |

2 番

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 部屋に本をしまうスペースがないから | 2. 言葉の意味がすぐに調べられるから |
| 3. 欲しい本がすぐに手に入るから | 4. 同時に何冊も楽に持ち歩けるから |

3 番

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 市内の図書館の数を増やす | 2. 市内全ての図書館の利用時間を延ばす |
| 3. 大きな図書館にパソコンルームを造る | 4. 中央図書館にカフェスペースを設置する |

4 番

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 効率的に業務をこなせる人 | 2. 自分で課題を発見できる人 |
| 3. 建設業務の経験が豊かな人 | 4. 明確なビジョンを持っている人 |

5 番

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 周囲に同化して、敵をだます方法 | 2. 毒の針で、敵を刺す方法 |
| 3. において、敵をこうげきする方法 | 4. からに閉じこもり、敵をかわす方法 |

6 番

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 不測の事態に営業部が臨機応変に対処すること | 2. トラブル時の部署間れんけいの指針を作ること |
| 3. 全ての部署が団結して目標に立ち向かうこと | 4. 各部署が対処可能な業務範囲を広げること |

問題 3 では、問題用紙に何も印刷されていません。この問題は、全体としてどんな内容かを聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それから、しつもとせんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

—メモ—

問題 4 では、問題用紙に何も印刷されていません。まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1 から 3 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

—メモ—

問題 5 では長めの話を聞きます。この問題には練習はありません。メモをとってもかまいません。

1 番、 2 番

問題用紙に何も印刷されていません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

—メモ—

3 番

まず話を聞いてください。それから、二つの質問を聞いて、それぞれ問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

質問 1: 1. 赤 2. 青 3. 緑 4. 黄

質問 2: 1. 赤 2. 青 3. 緑 4. 黄

2019年12月日语能力考试 N1真题答案

词汇·语法

问题 1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	问题 2	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
	2	1	4	1	2	3		4	2	3	1	4	3	1
问题 3	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	问题 4	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	
	1	4	2	3	4	3		2	4	1	3	4	2	
问题 5	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)				
	1	1	2	3	3	2	3	2	4	4				
问题 6	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	问题 7	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)			
	3	4	2	1	1		3	4	4	3	2			

阅读理解

问题 8	(46)	(47)	(48)	(49)	问题 9	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)	(57)
	2	3	1	3		3	4	1	4	4	1	3	4
问题 10	(58)	(59)	(60)	(61)	问题 11	(62)	(63)	问题 12	(64)	(65)	(66)	(67)	
	4	2	4	3		3	1		4	1	2	3	
问题 13	(68)	(69)											
	2	2											

听解

问题 1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	问题 2	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	问题 3	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	3	1	2	4	3	4		4	1	2	2	1	2		4	1	1	1	3	4
问题 4	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	问题 5	(1)	(2)	(3)			
	2	3	1	2	1	2	2	2	1	3	1	3	2		3	3	4	2		

2019年12月日语能力考试 N1真题详解

词汇.语法部分

問題 1

(1). 正解:2 解析: 他好像在等待着把这件事宣布出来的机会。

1. ひろ (尋) : 度。日本惯用长度单位。

2. ひろう (披露) : 宣布

3. ばくろう (博勞) : 马 (牛) 贩子

4. ばくろ (暴露) : 揭露, 泄露

(2). 正解: 1 解析: 一使劲就碎了。

1. くだけて (碎けて) : 破碎, 粉碎

2. かけて (掛けて) : 挂上; 铺上; 浇

3. はじけて (弾けて) : 裂开, 崩开

4. さけて (裂けて) : 裂开, 破裂

(3). 正解: 4 解析: 年纪大了, 对事物执念的心情减弱了。

1. しゅちやく : 干扰项

2. しちやく (試着) : 试穿

3. しっちやく (失着) : 失策

4. しゅうちやく (執着) : 贪恋, 留恋; 执著

(4). 正解: 1 解析: 确认债务状况。

1. さいむ (債務) : 债务, 欠的债

2. ざいむ (財務) : 财务

3. せきむ (責務) : 责任和义务

4. ぜきむ : 干扰项

(5). 正解: 2 解析: 铃木氏的研究对物理学的发展做出了很大的贡献。

1. こうかん (交換) : 交换

2. こうけん (貢献) : 贡献

3. こかん (股間) : 胯下

4. こけん (沽券) : 身份, 体面, 面子

(6). 正解: 3 解析: 昨天他的态度确实很果断。

1. きよい (清い) : 清澈

2. とうとい (尊い) : 尊贵

3. いさぎよい (潔い) : 干脆的, 果断的

4. こころよい (快い) : 心情舒畅的, 高兴的, 愉快的

問題 2

(7). 正解: 4 解析: 选手森在新闻发布会上表示本赛季结束之后将退役。

1. 証言 (しょうげん) : 证言, 作证

2. 開示 (かいじ) : 宣布, 宣告

3. 供述 (きょうじゅつ) : 供述, 口供

4. 表明 (ひょうめい) : 表明, 表示

(8). 正解: 2 解析: 政治家高木先生在全国各地飞来飞去, 精力充沛地进行演讲, 呼吁对政策的支持。

1. 圧倒的に (あつとうてきに) : 压倒的, 绝对的

2. 精力的に (せいりよくてきに) : 精力充沛的

3. 急進的に (きゅうしんてきに) : 激进的

4. 普遍的に (ふへんてきに) : 普遍的, 一般的

(9). 正解: 3 解析: 由于很担心寄养在朋友那里的宠物, 旅行都没怎么好好享受。

1. 手つかず (てつかず) : 还没使用

2. 臆病 (おくびょう) : 胆小, 怯懦

3. 気がかり (きがかり) : 担心, 挂念

4. 迷惑 (めいわく) : 麻烦, 为难

(10). 正解: 1 解析: 这个图表展示了近十年来市内人口的变迁。

1. 推移 (すいひ) : 变迁

2. 過程 (かてい) : 过程

3. 転換 (てんかん) : 转变, 转换

4. 変容 (へんよう) : 变样, 改观

(11). 正解: 4 解析: 由于预算减少, 这项事业能否持续令人担忧。

1. 損なわれて (損なう) : 损失

2. 恐れられて (恐れる) : 害怕

3. 崩れて (崩れる) : 崩塌, 倒塌

4. 危ぶまれて (危ぶむ) : 担心

(12). 正解: 3 解析: 箱子里装满了书, 非常重。

1. ぐらぐらと : 摇晃, 摆动

2. どんよりと : 阴沉沉 浑浊

3. ずっしりと : 很重, 沉甸甸

4. じめじめと : 潮湿, 湿润

(13). 正解: 1 解析: 把两个商品摆在一起的话, 它们的区别就很明显, 马上就会知道另一个是赝品。

1. 歴然 (れきぜん) : 分明, 明显

2. 整然 (せいぜん) : 有条不紊, 井井有条

3. 続々 (ぞくぞく) : 源源不断

4. 堂々 (どうどう) : 坦荡, 光明正大

問題 3

- (14). 正解: 1 解析: 作为一个新人, 突然被选为主角, 实属破例。異例(いれい): 破格, 破例, 不同寻常的例子, 没有先例
1. 珍しい(めずらしい): 珍贵的; 罕见的
 2. めでたい: 可喜可贺的
 3. 立派な(りっぱな): 出色的, 优秀的
 4. 幸運な(こううんな): 幸运的
- (15). 正解: 4 解析: 木村先生埋头于开发新药的实验。打ち込んだ(打ち込む): 投入; 打; 钉
1. 失敗した(失敗する): 失败
 2. 苦勞した(苦勞する): 辛苦; 操勞
 3. 協力した(協力する): 配合, 合作
 4. 熱中した(熱中する): 热衷于, 投身于
- (16). 正解: 2 解析: 池田这个人没有金钱观念。ルーズ: 散漫, 懒散; 没规矩
1. けちな: 小气的
 2. だらしない: 邋里邋遢; 不检点
 3. 無關心な(むかんしんな): 不关心的, 不感兴趣的
 4. 厳しい(きびしい): 严格的, 严厉的
- (17). 正解: 3 解析: 祖父非常详细地向我讲述了他在学生时代亲身经历的不可思议的事情。つぶさに(具に): 详细地, 具体地
1. のんびりと: 自在悠闲地
 2. 繰り返(くりかえし): 反复地
 3. 詳細に(しょうさいに): 详细地
 4. 懐かしそうに(なつかしそうに): 看上去很怀念地
- (18). 正解: 4 解析: 高桥的话没有条理性。脈絡(みやくらく): 脉络, 条理
1. うそ(嘘): 谎话
 2. 終わり(おわり): 结束
 3. 面白み(おもしろみ): 趣味
 4. つながり: 连接; 联系
- (19). 正解: 3 解析: 在下次的会议上, 要研讨新项目的相关事宜。吟味(ぎんみ): 仔细研究, 仔细考虑
1. 決定(けつてい): 决定
 2. 提案(ていあん): 提议, 提方案
 3. 検討(けんとう): 研讨; 研究
 4. 報告(ほうこく): 报告

問題 4

- (20). 正解: 2 解析: 要望(ようぼう): 要求, 希望
1. 应该用: 願い(ねがい): 愿望
 2. 应市民们的要求, 在车流量大的道路上重新安装了道路标识。
 3. 应该用: 申請(しんせい): 申请
 4. 应该用: 希望(きぼう): 希望, 愿望
- (21). 正解: 4 解析: 覆す(くつがえす): 颠覆; 推翻
1. 应该用: 巻き戻す(まきもどす): 倒回, 卷回原来的状态
 2. 应该用: 変更して(へんこうして): 更改, 变更
 3. 应该用: ひっくり返して: 翻过来, 翻面儿
 4. 发表了颠覆了以往定论的新的研究结果。
- (22). 正解: 1 解析: 繁盛(はんじょう): (生意) 兴隆, 昌盛
1. 车站前的超市又便宜口碑又好, 所以生意特别好。
 2. 应该用: 渋滞(じゅうたい): 堵车, 拥堵
 3. 应该用: 盛り上がった(もりあがった): (气氛) 热烈, 高涨
 4. 应该用: 繁荣(はんえい): 繁荣, 昌盛
- (23). 正解: 3 解析: くじける(挫ける): 沮丧, 颓废, 气馁
1. 应该用: 衰えない(おとろえない): 衰弱
 2. 应该用: ばてない: 疲惫至极, 枯萎
 3. 当我因为失败而倍感沮丧的时候, 亲人朋友给了我鼓舞。
 4. 应该用: 崩れそう(くずれそう): 变天, 崩塌
- (24). 正解: 4 解析: ひたむき(直向): 一个劲儿的; 专心致志的
1. 应该用: 急速(きゅうそく): 急速, 急剧
 2. 应该用: 一途(いちず): 专心, 一心一意
 3. 应该用: 深々と(ふかふかと): 深深地
 4. 即使摔倒了, 她也依然一个劲儿地朝终点跑去, 让我深受感动。

(25). 正解：2 解析：互角（ごかく）：不相上下，势均力敌

1. 应该用：均等（きんとう）：均等，均衡
2. 杀进决赛的选手们实力相当，谁胜谁负无从得知。
3. 应该用：同程度（どうていど）：同等的
4. 应该用：同様（どうよう）：同样，相同

問題 5

(26). 正解：1 解析：由于经济萧条的影响，许多企业被迫缩小或推迟业务，甚至从市场上退出来。

～を余儀なくされる：不得不，被迫

其他均为干扰项

(27). 正解：1 解析：一旦养成了习惯，是没那么容易改过来的。

1. そう：那样、那么
2. たとえ：后项常和「ても」相呼应，表示即使……也……
3. そのうち：过几天，过一会儿
4. いったい：到底，究竟

(28). 正解：2 解析：偶像西田 aki 半年后将面临大学升学考试，所以现在停止了活动。

1. を基にして：在……基础上、以……为基础
2. を控える：面临，临近
3. をもって：以此……。一般用于会议等正式场合的发言。
4. をめぐって：围绕……，就……

(29). 正解：3 解析：为了纪念结婚 20 周年，女儿送了游乐园的情侣票给我们做礼物。虽然我觉得我们夫妻两人都这年纪了，哪还能去游乐园啊，没想到去了之后玩得很开心。

でもあるまい：「名詞＋でもあるまい」表示这时……已不……吧。表示判断某事不合适，不适当。多以「いまさら/いまごろ～でもあるまい」的形式，用于在叙述时期太晚已不合适时。

(30). 正解：3 解析：（信件中）年末将近，我知道您每天都很忙，最近还好吗？

1. いたします：「する」的自谦语
2. 承ります：「受ける」「引き受ける」「聞く」的自谦语
3. 存じます：「知る」「思う」的自谦语。知道；认为，觉得
4. 申し上げます：「言う」的自谦语

(31). 正解：2 解析：到了停车场，刚要下车，就哗哗地下起大雨滴来了。

1. 出るようにしたとたん：「～ようにする」表示要做到……，设法做到……；「～たとたん」表示刚……
2. 出ようとしたとたん：「～（よ）うとする」表示正要……
3. 出るようにするにつれて：「～ようにする」表示要做到……
4. 出ようとするにつれて：「～につれて」表示随着……

(32). 正解：3 解析：在和客户商谈时，本应该说“在贵公司”，我却口误说成“在敝公司”，结果把对方弄糊涂了。

1. 言うのにひきかえ：「～ひきかえ」表示与……相反、与……不同
2. 言ったことにしても：「～にしても」表示即使……也……
3. 言うべきところを：「～べき」表示应该；「～ところを」表示当……的时候，却……
4. 言ったつもりはないのに：「～つもりはない」没有做……的打算；「～のに」表示逆接，明明……却……

(33). 正解：2 解析：这部电影的主演演技不好，但正因为其他演员的演技无可挑剔，所以太可惜了。

1. 文句をつける：挑毛病，提意见；～ようがない：表示没法……
2. ～だけに：表示正因为……
3. ～ずにはいられない：表示不能不……

(34). 正解：4 解析：早知道天气变得这么好，我就不会穿雨衣来了。

着てくる：穿过来

～んだった：「のだ」的过去式，表示强调，解释说明

～んじゃなかった：不会做……，不该做……，带有后悔和悔不当初的语气

(35). 正解：4 解析：我本想着坐傍晚的飞机回去，但是因为台风的经由路径，说不定下午的所有航班都会取消，所以还是提前找一下今晚住的旅店比较好。

1. なるにこしたことはない：「～にこしたことはない」莫过于……、最好是……
2. なりそうですらない：「動詞ます形+そうだ」好像，仿佛，似乎就要；「ですらない」连…都不…
3. なっているはずがない：「～はずがない」不可能……
4. ならないともかぎらない：「～ともかぎらない」不一定……，不见得，未必，可能

問題 6

(36). 正解：3 译文：老师推荐给我的文献很难，粗略地读是读了一遍，但是还不能说理解了。正确顺序：3-1-2-4

要点：「～ことは～が」表示“～是～，可是…”，「は」后面肯定是选项 3「読んだ」。「読むことは読んだが」表示“读是读了，但是…”。「あまり」是副词修饰动词「理解できた」后面接否定。「とは言えない」表示“不能说…”。因此答案是选项 3。

(37). 正解：4 译文：今天的行程安排得很满，忙到连吃饭都觉得是在浪费时间。正确顺序：1-4-2-3

要点：「惜しい」表示爱惜，珍惜；不想浪费；可惜。「くらい」强调忙碌的程度。

(38). 正解：2 译文：如果是说我的坏话姑且不论，要是说我家人或者我朋友的坏话，我是无法忍受的。正确顺序：1-3-2-4

要点：「ともかく」姑且不论，先别说。「なら」表示假定，“…的话”。「について」表示“关于…”，应该接在「自分のこと」的后面。

(39). 正解：1 译文：关于食物，我认为每个人都有“唯独这个是不能妥协”的某些讲究。正确顺序：3-4-1-2

要点：「これだけ」表示唯独这个，后面接「譲れない」表示唯独这个是不能妥协的，「何かしらの」表示某些，什么；后面接名词「こだわり」表示某些讲究。

(40). 正解：1 译文：因为想要一款很受欢迎的跑鞋，找了好几家运动鞋店，不是卖完了就是尺寸不合适，结果没买到。正确顺序：4-2-1-3

要点：「売り切れている」表示卖光了，「か」表示或者。

問題 7

(41). 正解：3 解析：作者认为“喜欢”根据程度不同而有所差异，如果对自己来说，不是非有不可的话就不能称之为“喜欢”。并举例说明自己并不喜欢写小说，但是也并不讨厌。所以作者认为对于自己来说他并不属于喜欢写小说的那种人。所以正确选项应该是选项 2「わたしにとって“对我来说”。选项 1“我也”，选项 3“（如果是）我的话”，选项 4“提到我”。

(42). 正解：4 解析：「小説を書くことそのものに満足を感じる上になったかもしれない。」这句话末尾的「かもしれない」表示可能，常与「もしかしたら」搭配在一起使用，表示“说不定…，可能…”。这句话的意思是“说不定就会满足于写小说这件事”，前文作者说到如果喜欢写小说的话，那写小说这件事对于作者来说就不再是特别的事，说不定就会满足于写小说这件事本身。所以正确选项是选项 4「もしかしたら」。

(43). 正解：4 解析：作者并不喜欢写小说但是依然能从写小说当中获得满足感。由此可见作者并不否定喜欢，只是觉得比较容易陷入喜欢这个单词的陷阱当中。所以正确选项应该是选项 4「否定しているわけではない」。「わけではない」：并不是…，并非…

(44). 正解：3 解析：作者在解释说明为什么真正的喜欢是说不出原因的，喜欢是自然而然涌现自大脑深层的情感，是一种感性的表现，而解释说明喜欢的理由是需要理性的，这两者之间本来就存在差异。「からだ」表示解释说明，所以应该选择 3「生まれるからだ」。

(45). 正解：2 解析：综上所述作者应该是认为能够用语言表达出来的喜欢是不能产生任何积极的力量。所以应该选择选项 2「なり得ないのだと思う」。「動詞ます形+得ない」表示“不能…”。

問題 8

(46). 正解：2 解析：问题是：关于「A42-C4」的二次维修，这则通知想告诉大家什么？

文中「再修理の対象となるお客様には、弊社製品の修理を行っております関連会社「FH エンジニア」より直接電話にてご連絡させていただきま

(47). 正解：3 解析：问题是：作者想要表达的是什么？

作者在一开头就提到「目的地を目指して走るだけでは、人生というのはもったいないのではないかと」、即“如果只是为了目的地为目标而奔跑的话，人生岂不是太可惜了吗？”。另外，作者还提到「むしろ目的に縛られ手いたのでは見えてこないものへと心を開いていなければいけない」，即应该用心去感受因太执着于目标而忽略的风景。所以答案是选项 3“如果只想着达到目标，就无法细细地品味人生”。

(48). 正解：1 解析：问题是：“带着面具的模仿”是指什么？

文中提到了孩子们被各种告知不要模仿别人，于是就学会了「人の真似ではないという真似」。即看起来不像模仿的模仿。就算和自己的真实想法相反，但还硬要学着“和别人保持不同”，这种模仿看起来很具有创造性，但是其实也是模仿。所以答案是选项 1“看起来没有模仿任何人的模仿”。

(49). 正解：3 解析：问题是：笔者认为现代是什么样的时代？

文中提到「現代は『発明は必要の母』となった。『発明』品を改良して新たな機能を付加することにより、人々に「必要」であった錯覚させ、消費を加速したのである。」，即现代变成了「发明是必要之母」，发明出来的东西经过改良，添加了新的功能，让人们产生了这个东西是必要的错觉，加速了消费。所以答案是选项 3“人们的精神因为被发明出来的东西而受到影响”。

問題 9

(50). 正解: 3 解析: 问题是: 笔者认为写作是怎样一件事?

文中第一段提到作者自己写评论的经验, 在写之前, 作者脑海中只有碎片化的内容, 没有大的框架。文中第一段提到作者自己写评论的经验, 在写之前, 作者脑海中只有碎片化的内容, 没有大的框架。后面说到「そのピンポイントの断片と他の断片との間を、スムーズな説得力のある流れになるように継ぎ足していく作業が『書く』という仕事である。」即写作就是用流畅且有说服性的语言把这些碎片化的内容补充完整。所以答案选择 3, 把浮现在脑海中的碎片用逻辑连接起来。

(51). 正解: 4 解析: 问题是: 文中提到“不可思议”, 为什么?

文章第二段中写到, 原本不打算写的内容在不知不觉中写了下来, 这种情况并不少见。当回看写完的成果时, 就会觉得“原来自己之前是这样考虑的呀”。因此会觉得不可思议。所以答案应该选 4, 因为能够让人觉得写出来的成果就是最开始考虑的东西。

(52). 正解: 1 解析: 问题是: 和笔者想法相符的是哪个?

文章第三段中写到, 「それが言葉や文章に定着したとき、『考え』というものになる」。把脑海中的印象用语言和文章沉淀下来, 就形成了自己的想法。所以答案应该选 1, 通过转化成文字, 能够呈现出自己的想法。

(53). 正解: 4 解析: 问题是: 以下哪一种情况青蛙被寄生虫感染发病的概率低?

文章第一段提到, 当青蛙数量相同时, 在只有特定一个种类的青蛙和多个种类的青蛙共存的情况下, 种类单一的青蛙受寄生虫感染发病率比前面提到的另一个情况要高。所以答案应该选 4, 多种类青蛙共存的情况。

(54). 正解: 4 解析: 问题是: 跨越种族的合作, 是指什么?

文章第二段提到把自己种族使用的资源让给别的种族, 使其继续生存是对自己的种族有好处的。后面举例蚂蚁的付出为成本, 来换取多样化种群共存的可能性。所以答案应该选 4, 就算有一定的牺牲, 也要帮助其他种群存活。

(55). 正解: 1 解析: 问题是: 关于寄生虫, 作者是如何描述的?

文章第三段提到从寄生虫方面来看, 如果受感染的青蛙群体是单一种类的话, 当所有的青蛙都受到感染而无法存活时, 短期内寄生虫的繁殖率会增高。但是随着全部青蛙因感染而死, 寄生虫将没有寄生的对象, 随之而来的也将是灭绝。

所以答案应该选 1, 如果受感染的青蛙只有一个种类, 那寄生虫本身也会灭绝。

(56). 正解: 3 解析: 问题是: “这个”是指什么?

文中写到「見える化されたものは、元々の姿からアナログの部分が省略され、変形しているのです。」说明作者觉得在可视化的转变下, 有些原本的内容被省略或变味儿了。再从文中第二段可以看出, 这个「元々の姿」指的是手工业人的直觉或经验。

所以答案应该选 3, 被可视化的东西中, 不包含匠人的经验, 直觉和用心。

(57). 正解: 4 解析: 问题是: 作者认为, 产生新技术的必要条件是什么?

文中倒数第二段提到, 所谓匠人的技术, 是通过自己不断积累经验, 用手去触摸, 头脑思考, 才产生出不同的做法。因此手工业的过程正是创造的过程。所以答案应该选 4, 使用手和头脑去进行作业。

問題 10

(58). 正解: 4 解析: 问题是: 关于“脑科学”, 作者是怎么描述的?

关键句在文章第二段中最后一句: 在理解大脑的机能之前, 总会有一些“现象”先一步在社会中传播开来。这一点是最有意思的。和关键句最相近的一项为选项 4。选项 1 错在「進歩している」, 文章确实提到了“脑科学比其他学科更快”但是快的是传播速度, 并没有提到它进步的速度。选项 2, 3 文章并未提及。

(59). 正解: 2 解析: 问题是: “这样的情趣”, 是什么意思呢?

文中第三段提到「そこではできるだけ面白く人々の興味をひきつけるストーリーを作りがちになります。」即在那时会经常不自觉的编造一些尽量提起人们兴趣的故事, 后面说到虽然这样的情趣不适合基础科学, 但是媒体这么要求了, 我们怎么样也要根据他们的要求, (将一些科研成果) 改编成浅显的脚本, 扭曲真正有趣的地方。选项 1 和选项 4 不符合文意, 可以直接排除, 选项 3 文章中并未提及, 因此选项 2 为正确选项。

(60). 正解: 4 解析: 问题是: 现在的媒体与脑科学的研究是怎样的关系?

关键句和第 59 题一样: 为了应对媒体那样的要求, 我们将科研成果改变成简单的剧本歪曲它本来的有趣之处。因此选项 4 为正确答案。选项 1 和 2 文章中并未提及, 选项 3 的“媒体剥夺了关于脑科学的发表机会”和文章内容不符, 脑科学的发表机会并没有被剥夺, 媒体只是对发表有一些要求。

(61). 正解: 3 解析: 问题是: 根据笔者所写, 科学家们应该如何处理和近来的媒体的关系?

文章最后一段「科学者の価値は、何よりも科学の現場に居続けることにあります。」「常に研究の現場に自分をつなぎ止め、足を杭で打ち付けてでも科学の現実から離れないようにすること。」即科学的价值是在科学现场一直待下去, 要做到即使是把脚订到木桩上都不能离开科学的现场。后面又提到如果科学家抱着这样的决心来应对媒体, 才能在科研道路上继续脚踏实地的走下去。因此正确答案为选项 3。选项 1, 2, 4 均不符合文章原意。

問題 11

(62). 正解: 3 解析: 问题是: 在过度夸奖部下的问题上, A 和 B 有什么共同之处?

选项 1 部下之前的人际关系恶化。A 没有提到, B 说的是如果在大家面前表扬特定的某一个人, 会造成团队内关系恶化。

选项 2 部下对上司抱有不信任感, 丢失工作的干劲。A 没有提到。

选项 3 部下会变得为了被表扬而工作。AB 都有提到, 所以此项为正确选项。

选项 4 部下在工作上会只以拿出工作成果为目标。AB 都没有提到。

(63). 正解: 1 解析: 问题是: 关于对待部下的方法, A 和 B 是怎样描述的?

选项 1 A 说有必要根据情况进行表扬或是批评, B 说对做得好的地方马上进行表扬是很重要的。此项正确。

选项 2 A 说在批评过后要表扬比较好, B 说在合适的时机表扬是很重要的。文章 A 说的是根据情况表扬或是批评, 因此 A 项表述错误。

选项 3 A 说应该尽量不要批评。B 说要诚实表扬认为好的地方。A 项表述错误, B 没有特别提到。

选项 4 A 说用简单明了的语言表扬是很重要的, B 说在工作的工程中表扬做的好的地方。A 项没有提到。

問題 12

(64). 正解: 4 解析: 问题是: 为什么会觉得是不得了的发明?

文章第二段「それは、貨幣というものが、確かに人間の生活を変え、世界を見る目を変え、欲望のあり方を変え、人生観を変え、結局のところ人間性を変えてきているように思うからだ。」即那是因为, 货币这种东西, 确实改变了人们的生活方式, 改变了人们看世界的方法, 改变了欲望应有的状态, 改变了人生观, 造成的结果是连人性也正在改变。答案是选项 4。

(65). 正解: 1 解析: 问题是: 关于在狩猎采集生活时候的人的欲望, 笔者是如何阐述的?

第三段就是描述狩猎采集生活的。其中有这样几句话「できることは限られていたし、望めることには限度があった」、「欲しい物」というのは具体的な物であり、それを手に入れる方法は限られていた。」这几句话是说, 而是因为能做到的事情有限, 所以欲望也有限, 所以很显然选项 1 是正确的。

(66). 正解: 2 解析: 问题是: 根据笔者所说, 人类获得了货币之后变成了什么样子?

文章第四段「何にでも交換できる抽象的な価値が手に入るようになると、それ自体を得たいという新たな欲望が生まれる。」即当人们获得什么都能交换这样的抽象价值后, 就产生一种想要这种抽象价值本身的欲望。后面继续提到对金钱异常执着的人, 并不是因为特别想要什么而获取货币, 而是把积攒货币作为比任何事都重要的目的。正确答案是选项 2 “货币本身成为了欲望的对想”。选项 1, 4 没有提及。选项 3 作者在第四段中直接否定了。

(67). 正解: 3 解析: 问题是: 笔者最想说的是什么?

一般笔者都会在文章最后一段点题。我们看下最后一段, 讲到: 大家现在为了入手货币而去从事一份职业, 于是产生了“我是在独立生活”的错觉。但是其实现在和之前的狩猎采集生活没有太大本质上的变化, 也是需要社会的各种分工, 大家才能活下去。但是因为中间有了货币介入, 让人误以为我们不是“共同”生活了。这是货币带来便利的同时带来的负面。笔者最后希望大家能停下来思考一下。所以符合笔者意思的是答案 3 “不能忘记因为货币的产生而失去的‘共同’的感觉”。

問題 13

(68). 正解: 2 解析: 题目是: 关于这个推动制度的申请, 需要留意的点是什么?

选项 1 说想要获得这个推动金, 之前不能有任何获得过的历史。但是文中「対象団体」第二条写的是, 3 年之内没有获得过推动金即可, 故错误。

选项 2 说获得推动金的事业必须在规定的期间内实施, 符合文意。选项 3 说只要合计 30 万日元以内, 可以申请多个事业。文中「助成額」一处的括号中有写, 单个团体只能申请一个事业, 故错误。选项 4 说团体的企划发表必须要在第一次选拔的时候进行。文中的「スケジュール」部分可以看出, 发表只需要在第二次选拔进行即可, 故错误。

(69). 正解: 2 解析: 题目是: ソンさんは十条市民且は国際交流クラブの代表, 申請了这个推动金。但只想参加必须的事项。如果不能参加 12 月 10 日的说明会的话, ソンさんの申請方法可以是以下哪种?

选项 1/2 和 3/4 之间的区别是是否参加「個別相談会」, 我们可以看到文中的「個別相談会」后面的括号中有写“仅限希望参与者”, 可见并不是必须, ソンさん可以不参加。选项 3/4 排除。关于申请资料的提出方式, 在「応募方法」的括号中有写“不可传真和邮件”, 所以选项 1 排除, 正确答案是选项 2: 参加 12 月 9 日的说明会, 邮寄申请资料并保证在申请期间内到达。

听力原文

問題 1

1 番：図書館のカウンターで男の人と図書館の職員が話しています。男の人は、この後、どうしなければなりませんか。

男：すみません、これ、先日お借りした本なのですが、子どもが破ってしまってます。

女：ああ、そうですね。このページ、一部ちぎれて読めない箇所がありますね。この欠けてしまった部分お持ちですか。お持ちでしたら、修理を試みますが。

男：それが何度も探したんですが、どうしても見つからなくて。

女：では弁償していただくことになります。

男：えっ？弁償ですか。

女：はい。盗難等に遭われた場合は警察に盗難届を提出していただければ、弁償は免除になるんですが、紛失や破損の場合は同じものを商店などで入手の上、お持ちいただくことになります。現金での弁償はお受けしておりませんので。

男：そうですか、わかりました。

男の人は、この後、どうしなければなりませんか。

2 番：会社で、女の人と男の人が話しています。女の人はこの後何をしますか。

女：あのう、課長、わが社の創立 30 周年記念パーティの件なんですけど。

男：うん。準備進んでる？

女：はい、それが、来場者に配る記念品の写真立てなんですが、30 周年ということでかなり凝ったデザインのものにすることにしましたよね。

男：うん。

女：いつもの業者に頼んだんですが、あれだと、納期に間に合わないと言われてまして。

男：それはまずいね。別のとこにあたることはできない？

女：それも考えたんですが、あの業者には予算面でもかなり無理を聞いてもらってますし。

男：そうだね。じゃあ、見た目に拘りたいのはやまやまだけど、時間のこともあるし、業者と相談して納期に納まる程度のものにしてくれる？

女：はい、承知しました。

女の人はこの後何をしますか。

3 番：旅行会社で上司と女の人が話しています。女の人はずう何をしますか。

男：山田さん、うちがはじめて手掛ける登山ツアーの企画、山田さんにも加わってもらうことになったから。

女：あつ、はい。あのう、私、これまでまったく登山をしたことがないんですが。

男：この企画はそういう初心者が気軽に参加できるものかと考えてるんだよ。外部の専門家にも入ってもらうから、専門的なことは心配しなくてもいいよ。早速で悪いんだけど、頼んでいいかな。

女：はい。

男：そこのファイルに近郊でツアーの候補地になってる山をリストアップしてあるから、そこから五つぐらいに絞り込んでもらいたいんだ。自分でも登れそうだって思えることを念頭に、コースの魅力度でね。他社の類似ツアーの資料も入ってるから、それも参考にしながらね。

女：はい。

男：最終的には、五つの候補地を専門家と企画担当全員でさらに検討して三つにするんだけど、その段階になったら、周辺のレジャースポットを調べてもらうのも山田さんにとって思ってるんだ。帰りに寄れそうな温泉とか土産屋とかね。

女：わかりました。いいツアーになるよう頑張ります。

女の人はずう何をしますか。

4 番：パン屋を経営する男の人が知り合いの女の人と話しています。男の人はこの後何をしますか。

男：うちのパン屋、お客さんがのきさきに自転車を止めることがあるんですけど。どうしても歩道にはみ出してしまうので、近所から苦情が来てるんですよ。佐藤さんが経営なさってる喫茶店もうちと環境似てますけど、どうされてますか。

女：私のところでも以前同ような問題がありましたよ。ただ、たまたますぐ隣に市の駐輪場ができて。無料のね。今はそこを使ってもらっています。

男：無料で使える市の駐輪場、ないことはないんですが。店からちょっと離れてるんですよね。って言っても、徒歩五分くらいだから、ぜひそこを使ってほしいんですが。駐輪場までの地図を入口に表示してるんですけど、なかなか…。

女：うん。自前の駐輪場が持ってたなら一番いいんでしょうけど、店の隣の土地が手に入れない限りはね。もう自転車を物理的に置けなくするしかないと思いますよ。

男：つまり、自転車を置いてほしくない場所に駐輪禁止と書いた大きな看板を設置するとかですか。

女：ええ、まあ。ただ、そうすると、お店の雰囲気が悪くなっちゃうでしょ。だから、花や緑の植木鉢でのきさきのスペースを埋めちゃうんです。うちも隣に駐輪場ができるまではそうやって、効果ありましたよ。

男：なるほど、早速やってみます。 男の人はこの後何をしますか。

5 番：語学学校で職員がこの学校の講師に話しています。講師は何をしなければなりませんか。

女：講師の先生方にお知らせとお願いがあります。来年度から、本校の受講生が自由に使える自習用のオンライン教材を導入することになりました。これは、受講生へのアンケートをもとに開発したもので本校のホームページからアクセスし、音声聞きながら単語が学べる教材です。受講生から質問があるかもしれないので、どのような教材か把握しておいてください。閲覧は明日から可能です。アクセスに必要な ID とパスワードは今からお配りします。パソコンの設定は不要ですが、もしアクセスしてみてご不明な点があれば、事務にお問い合わせください。

講師は何をしなければなりませんか。

6 番：会社で男の人と女の先輩がパソコンで作成した議事録について話しています。男の人はこの後まず、議事録をどうしますか。

男：あのう、先輩。僕、今日初めて会議の議事録を取ったんですけど、この後、議事録はどうしたらいいんでしょうか。皆さんに内容をチェックしてもらわなきゃならないですよ。

女：ええとね、オンラインの社内ネットワーク上に会議記録っていう共有フォルダーがあるんだけど、そこに保存しておけば、各自が過失修正するから。今年度から経費削減で紙媒体では閲覧しなくなったんだ。だから、印刷はなしで。

男：はい。あのう、部長にもそれで内容を確認してもらえますか。

女：うん。あつ、そうだ、前回の会議から、メールに添付して発言者全員に送ることになったんだ。共有フォルダーにアップしてもみんななかなか見てくれないから。

男：そうなんですか。

女：それで、過失修正して返信してもらって、それを反映させたものを完成版として共有フォルダーに入れるの。ちょっと手間がかかるけどね。あ、混乱しないように、未完成のものは共有フォルダーに保存しとかないでね。あつ、部長は完成したのを見るから。

男：わかりました。男の人はこの後まず、議事録をどうしますか。

問題 2

1 番：男の人と女の人が歌舞伎の観劇について話しています。女の人がいつも楽しみにしていることはなんですか。

男：ね、木村さん、よく歌舞伎見に行ってるよね。先輩に誘われて週末初めて見に行くんだけど、歌舞伎については古い時代の話ってこと以外なんの知識もない僕でも楽しめるかな。それに、どんな格好していけばいいんだろう。

女：もっと気楽に考えたら。そりゃ、劇場にいけば着物でバッチリ決めていかにも歌舞伎に精通していますって人もいるけど。私なんて毎回普段よりややおしゃれかなぐらいの格好で行っているし、知識だって高が知れてるよ。この人のファンだっていうのもないし。

男：本当？

女：うん、歌舞伎って話し方とか独特で、内容が細かいとこまではわかんなかったりするんだけど、幕があがると、そこはもう別世界でね。その時代にタイムスリップしたような感覚に陥るんだ。

男：へえ。

女：私はそれがたまなくて、ちょくちょく行っているんだけど、一度見てみたら好きな役者さんが見つかって、今度はその人を見るために行く、なんて人も多いみたい。

男：なるほど。よし、どんな役者が出るかだけでも、前もってチェックしていこうかな。

女の人がいつも楽しみにしていることはなんですか。

2 番：女の人と男の人が電子書籍について話しています。男の人はどういう理由から電子書籍を使い始めましたか。男の人です。

女：ねえ、電子書籍、利用してる？専用の端末に本をダウンロードして読むやつ。

男：僕、使ってるよ。

女：どういうきっかけで使い始めたの。私、本は紙で読みたいと思ってこれまで興味なかったんだけど、部屋に本があふれて、これ以上置くスペースがなくて、これは電子書籍にするしかないかなって、買うかどうか迷ってるんだ。

男：わかる。僕もそれで紙から電子媒体に変えたんだよ。収納が限界になって。僕も紙のほうがいいと思ってたけど、いざ使ってみると端末に入ってる辞書機能で言葉の意味がすぐに調べられるし、外国語の本を読むにも、とにかく便利だよ。

女：そっか。

男：読みたい本は端末からインターネットでダウンロードしてすぐ手に入るっていうのも大きな魅力かな。その上、紙の本は複数持つと重いけど、電子書籍なら端末に入ってる本全部持ち歩けるわけだから、いつでもどこでも読めるよ。

女：うーん、やっぱり私も電子書籍にしよう。男の人はどういう理由から電子書籍を使い始めましたか。

3 番：市長が市の図書館の改革について演説しています。市長はまず、何から取り組みたいと言っていますか。

これから市民の生涯教育への支援の一環として、図書館改革に力を入れてまいります。これまでの取り組みにより、市内の図書館の数は増えたものの、全ての図書館での利用時間延長という多くの声にはまだ対応できておりません。何よりも優先して取り掛かります。え、ついでパソコンルームの設置も規模の大きな図書館からになりますが、徐々に進めてまいります。それと並行して、図書館をよりリラックスしてご利用いただけるよう、まずは中央図書館からカフェスペースの設置を行ってまいりたいと思います。

市長はまず、何から取り組みたいと言っていますか。

4 番：テレビでアナウンサーが建設会社の社長にインタビューしています。社長は、今年度、どのような人材を採用したいと言っていますか。

アナウンサー：今日はさくら建設の山崎社長にお話を伺います。今年度は中途採用の増員を計画されているそうですが、どのような人材を求めていますか。

社長：これまでは長年目標に最短距離で到達できる能力があること、つまり、効率的に業務をこなせる人材であるという点を重視してきました。でも、それは入社後の研修で育成できることだと考えるようになり、それで採用の視点を変えてみることにしたんです。

アナウンサー：研修では身につけられない素質を見るということですか。

社長：ええ、ただ与えられた課題をこなすんじゃなく、自ら課題を見いだせるか、これはどうも、大人になって人から教えられて身に付くものじゃないようなんですよ。たとえば建設の業務経験が豊かな人であってもね。いろんな人を見てきてそう思います。

アナウンサー：そうですね。

社長：我社の一員になったら、会社の将来について明確なビジョンを持って取り組んでもらいたいですね。まあ、これも入社後、日々の業務を重ねて形成されるものだと思いますが。

社長は、今年度、どのような人材を採用したいと言っていますか。

5 番：女の学生と男の学生が生き物が自分の身を守る方法について話しています。男の学生は何についてレポートを書くと言っていますか。男の学生です。

女の学生：生物学のレポート、生き物が天敵から身を守る方法の一つ選んでまとめるってことだけど、どんな方法について書く？

男の学生：うー、どうしようかな。そういえば子供の頃、生物図鑑である魚は自分を海底の岩みたいに見せたり、ある動物は体の色を変化させたりして、見分けがつかないようにして、自分の身を守るのを見て、子供心に感動したなあ。

女の学生：ああ、周りの環境への同化でしょ。自然と一体になって、敵を欺くってすごいよね。

男の学生：うん、あ、それとは対照的に攻撃的な自己防衛もテーマとして面白いよね。毒針で敵を刺したり、強烈な匂いで敵を追い払うやつ。

女の学生：うん、面白い。私、毒か匂いについて書いてみようかな。

男の学生：僕はどうしようかな。やっぱり自然と同化するやつが面白いと思うから、それにする。そうそう、硬い殻に閉じこもって、敵の攻撃をかわすっていう方法もあるよね。敵が去るまで、殻の中でじっとしてるなんて忍耐が要るよな。忍耐力は尊敬するけど、ただ隠れるってのはレポートのテーマとしてはまいだね。

女の学生：（笑い声）そうだね。

男の学生は何についてレポートを書くと言っていますか。

6 番：電子辞書を作っている会社の営業部で上司と部下が話しています。今後、この会社では、どうすることが必要だと言っていますか。

上司：新製品の電子辞書、店頭販売が予定通り開始できてよかったね。下請け会社の廃業っていう不測の事態があって、一時はどうなることかと思ったけど。

部下：はい、営業部だけではとても…社内各部署に臨機応変に対処してもらえて、なんとか無事に。

上司：ただ今回のような事態が起きた時に、どの部署がどう対処するのか、ガイドラインができていないことが浮き彫りになったよね。

部下：こうしたトラブルに毎回違うアプローチをとるようだと、非効率ですよな。

上司：複数の部署が団結して対処することはこの先もあることだから、この経験を指針作りにまで繋げないとね。

部下：そうですね。その過程でそれぞれの部署で何をどこまでできるか、対処可能な範囲も明らかになりますね。

今後、この会社では、どうすることが必要だと言っていますか。

問題 3

1 番：テレビで女の人が話しています。

女：近年、海外に出かける若者が以前より減っているそうです。アルバイト代やボーナスをもらっても将来に備えて貯金する堅実派が多いとか。計画的でいいと思いますが、ちょっと残念な気がします。私は 20 代のころ、一年かけて世界一周旅行に出かけました。体一つで言葉も宗教も違う、いわゆる異文化の中に飛び込んでいったんです。見るもの、出会う人、すべてが新鮮でわくわくする一方、コミュニケーションをとることの難しさも痛感したものです。こうした若い時の異文化体験は人を大きく成長させ、その後の人生の糧となります。若い人には、将来の自分に投資してほしいと思います。女の人が若い人に伝えたいことはどのようなことですか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 将来に備えて貯蓄するべきだ | 2. 確実な投資の方法を学ぶべきだ |
| 3. 若い時の外国語学習は大切だ | 4. 若い時の異文化体験は大切だ |

2 番：会社で男の人と女の人が話しています。

男：僕、ニュースはいつもインターネットのニュースサイトで見てただけ。たまに駅で朝刊を買って読んでるうちに、新聞に目覚めちゃって、十年ぶりに今はうちでとってるんだ。

女：へえ。インターネットのほうが、すぐ記事を検索できるし、便利じゃない？

男：まあ、そういう側面もあると思うけど、ある時、自分から見ようとしないニュースの中に、見落としとか思わぬ拾い物があるんじゃないかって思っ。紙面だといくつかの記事が同時に見渡せるし、片隅にふと気になるニュースを見つけたりして、記事のほうから目に飛び込んでくるっていうか。

女：確かに、インターネットのニュースサイトだと、記事とのそういう出会い方はね。

男：それに、各紙が情報の審議に責任をもって発信しているわけだから、ネットの情報がすべて信頼できないとまでは言わないけど、その点もね。男の人は何について話していますか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 改めて新聞を読むことにしたわけ | 2. インターネットニュースの便利さ |
| 3. 毎日、新聞を読むことの大切さ | 4. おすすめのニュースサイト |

3 番：ラジオでアナウンサーが話しています。

女：海の歌や、真冬のレストランなどの流行歌で知られる田中一郎さんが亡くなりました。89 歳でした。田中さんは多くの歌手に作品を提供し、かずかずの流行歌を生み出しました。まさに言葉の芸術家でした。作品はどれも力強く、言葉の一つ一つが人々に勇気や希望を与えてくれました。その作品はこれからも多くの人々に歌い継がれていくことでしょう。何についてのニュースでしたか。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 作詞家が亡くなったこと | 2. 作詞家の一生 |
| 3. 流行歌の歌詞 | 4. 流行歌の特徴 |

4 番：テレビでアナウンサーが人工知能の専門家にインタビューをしています。

女：最近、人工知能という言葉をよく耳にするようになりました。人工知能というのは大量のデータを蓄積した機械に推論、学習など人間の知能の働きに近い能力を持たせようとするものですが。

男：ええ。製造物流から高齢者の介護まで幅広く役立てられていますし、危険な現場での作業なんかも人工知能を搭載したロボットが行ったりしていますね。

女：家庭で組み立てられるコミュニケーションロボットも話題になりましたよね。

男：ええ。人工知能が家族一人一人を認識し、会話によって、家族のことを理解し、成長していくというものです。暮らしを便利にする上では、車のカーナビや自動走行なんかもそうで、生活の身近なところにも入ってきてます。話のテーマはなんですか。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 人工知能はどのように活用されているのか | 2. 人工知能はどうして必要なのか |
| 3. 人工知能は今後どうなっていくのか | 4. 人工知能はどんな問題を抱えているのか |

5 番：ラジオで女の人が話しています。

女：歴女という言葉を知っていますか。最近、歴史好きの女性を歴女と呼ぶんです。ほかにも、登山が好きな女性を山ガール、相撲好きを相撲女子って。それらの趣味は男性が好むものだと思われていたからそこに進出していた女性たちをわざわざガールとか女子とかつけて呼ぶんでしょうね。今、このなになに女子という言葉がどんどん増えてきているように思います。逆に料理男子とか編み物男子とか、なになに男子という言葉もいろいろ出てきてこちらも進出してくるようです。おそらく、何年か先にはこの女子や男子というのも不要になるんでしょうね。女の人が言いたいことはなんですか。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 歴史が趣味だという女性が増えていること | 2. 男性より、女性のほうが趣味が多いこと |
| 3. 趣味に男女差がなくなっていること | 4. 趣味を持つ男性が少なくなったこと |

6 番：ラジオでアナウンサーが話しています。

女：春の訪れとともに山に積もった雪が溶け始めると、残った雪と山肌が馬の形や鳥の形など様々の模様を作り出します。これを「雪形」と呼びます。「雪形」が見える地域では、昔から、馬が現れたら、田植えをすることだというように作物を作る目安にしてきました。このほかにも、農家の人々が目安とするものとして花の開花などがあります。地域によって目安にする花の種類は異なりますが、それらの花が咲くを見て、野菜の種を蒔くなどしてきたそうです。「雪形」も、花の開花も、気温などの条件に左右されており、昔から、自然の変化をうまく取り入れ、作物を作ってきたのです。アナウンサーは何について話していますか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 雪が積もった山の美しさ | 2. 天候と作物のできの関係 |
| 3. 雪が花の開花に及ぼす影響 | 4. 農作業の時期を見極める知恵 |

問題 4

1 番：女：コーチ、この雨じゃ、試合中止もやむを得ないでしょうね。

1. じゃ、やむまでやりましょう。
2. これじゃ、無理ですね。
3. ああ、雨、止みそうですか。

2 番：男：先作ってくれたこの見積書、合計金額が抜けてるよ。

1. すみません、計算が間違っていましたか。
2. すみません、合計書かないほうがよかったですね。
3. すみません、書き入れて出し直します。

3 番：男：このお菓子、材料にこだわってるからっていい値段したけど、それだけのことはあるよね。

1. 期待を裏切らないね。
2. 材料にこだわってるのにね。
3. いいのは値段だけってことだね。

4 番：男：あ、山下さん、こんなところで会いするなんて。

1. あ、待っててくださったんですか。
2. 本当、思いもしませんでした。
3. 先もここで会いしましたっけ。

5 番：男：木村さん、今日のプレゼンもまったく危なげない出来でしたね。

1. そんなことないです。緊張しちゃって。
2. 毎回ひやひやさせてすみません。
3. 危なかったですか。気が付きませんでした。

6 番：女：田中さん、部長今海外出張から戻ったと思ったら出てたけど、なに？

1. じゃ、出張から戻ったら教えて。
2. トラブルがあって、その対応みたい。
3. え、これからまた海外に行くの。

7 番：男：この海の絵、子供ならではの感性で描かれてて面白いですね。

1. 本当、まるで子供が描いたみたいですね。
2. 子供の発想って本当に素晴らしいですね。
3. 確かに子供ならもっと自由に描くでしょうね。

8 番：男：山田さん、君、新しい企画の担当、買って出たんだって。

1. それが結局かえなかったんです。
2. ぜひやってみたいと思ひまして。
3. え、今度そんな企画が出たんですか。

9 番：女：ゼミの加藤さんと鈴木さん、最近ぎくしゃくしてない？

1. 何かもめたのかな。
2. え、二人で一緒に？
3. 確かに忙しそうにしてるね。

10 番：男：昨日出してくれた新商品の企画書、よかったよ。まあ、商品名はありきたりと言えなくもないけど。

1. あ、よかったの、商品名だけでしょうか。
2. いいえ、似たような商品名もたくさんあるはずです。
3. 商品名もう一度考え直します。

11 番：男：初めての登山で雪山に登るなんて、田中くんの挑戦、むちゃにもほどがあるよね。

1. いったい何考えてるんだろうね。
2. そんなむちゃなこと言わないでよ。
3. 関心するほどのことじゃないよ。

12 番：女：森さん、森さんたちが作ったソフトウェア、発売前なのに、問い合わせひっきりなしだって。

1. 少しは人気が出てもいいのになあ。
2. いや、問い合わせはゼロじゃないよ。
3. なんだかものすごい反響なんだよ。

13 番：男：今日って、何か急ぎの案件抱えてたりする？

1. まだ何も考えてません。
2. 特にないですが、なんでしょうか。
3. 今日は荷物は持ってきてないです。

問題 5

1 番：男のひと女のひとが漁業に関する文献について話しています。

男：ぼく、来月から北海道の漁業組合でシステムエンジニアとして働くんだ。漁業の知識はいらないって言うんだけど、日本の漁獲量の現象問題ぐらいは把握しときたくて。加藤さん、大学の時、海の資源を守る活動してたよね。

女：うん。

男：参考になりそうな本があったら、教えてもらえない？漁獲量がいつ頃からどう変わってきたか。統計データで示されてるのがいいんだけど。それと、資源を守るための国内での最近の取り組みも知りたいんだ。基礎知識のない僕でも読みやすくて分厚くないのがいいなあ。

女：ええとね、基礎的なものっていえば、『日本の漁業』っていう本かなあ。漁獲量の現象とかいろんなデータが図表でわかりやすく出てるし、国内の漁業についてコンパクトにまとめられてて読みやすいよ。あつ、北海道なら『北海道の漁業』って本がおすすめ。北海道の漁業の歴史が詳しく記録されてて、資源量や漁獲量の変遷なんかのデータも豊富。データが多い本、本の厚みはあるけど、まあ、頑張れば読めると思うよ。

男：ええー、どっちも興味深いなあ。

女：両方とも資源を守る活動も載ってたよ。ただ、結構前の出版だから、最近の取り組みじゃないなあ。あつ、そうだ。『漁業の未来』っていうのもあった。漁獲量現象とそれに対する国内各地でのここ数年の対策が中心に扱われてて、データが多くて、報告書の形で書かれてるんだ。でも、かなりのページ数だから、ちょっと読むのはきついかも。

男：いろいろあるんだね。

女：読みやすさで言うなら、『新しい漁業』。漁獲量変遷のデータはなかったような気がするけど。資源保護に向けた世界各国の新しい漁業の形が紹介されてて、日本も取り上げられてる。情報も新しいよ。いま紹介した本は四つとも中央図書館に置いてあるはず。

男：どれもよさそうだけど、自分がいま知りたいことが網羅されてるものから読んでみるよ。やっぱり、取り組みは新しいものもいいから、分厚いのをちゃんと読めるか分からないけど、図書館で借りてみる。

男の人は図書館でまずどの本を借りることにしましたか。

1. 『日本の漁業』
2. 『北海道の漁業』
3. 『漁業の未来』
4. 『新しい漁業』

2 番：家電量販店のカメラ売り場で、店長と店員二人が話しています。

店長：新発売の一眼レフカメラトミーだけど、売り上げが伸び悩んでるよ。八万円帯で安くはないから、そう一気に売れるものでもないけど、何かいい案ないかな。

店員（女）：あのう、購入者にプレゼントしてる黒のカメラケースですが、色やデザイナーのことなる、おしゃれなのを数種類用意して、その中から選べるようにするとどうですか。ファッションの一部として、カメラ持ち歩く人も増えてますし。

店長：確かにいま差し上げてるのはおしゃれとは言えないなあ。

店員（女）：それが購入者に撮影講座を無料で受講できる特典を付けるっていうのもいいんじゃないでしょうか。プロのカメラマンに依頼して講座を開催するんです。

店員（男）：商品自体の魅力が伝わらない限り、売り上げには繋がらないんじゃない。

店員（女）：特典がつくって、消費者には魅力的ですよ。トミーならではの機能を存分に使って、講座をやってもらえば、使いこなせるようになって、喜ばれると思います。

店員（男）：決して安い買い物じゃないから、簡単には購入に踏み切れないんだと思います。ですから、商品を貸し出して、24時間自由に使ってもらってというのはどうでしょう。10台ほど用意して、いい製品だから、良さが分かれば、納得して買ってもらえるんじゃないかと。

店員（女）：でも、壊されたりしたら…

店長：その可能性もあるけど、弁償の契約をつけるっていう手もあるか。

店員（男）：このさい思い切ってと思うんです。それが無理だとしたら、トミーで撮った作品を募って、入口のところで展示会を開くのもいいかと。トミーは初心者でも結構うまく撮れます。宣伝になりますよ。

店長：うん。その企画は購入者がある程度増えたらやって見よう。いまはまだそんなに集まらないだろう。うん、いろんな案が出たけど、購入者に何をついていうより、性能の良さを肌で感じてもらって、欲しいと思って買ってもらうのがいいと思うから、まずは先の案やってみよう。

カメラの売り上げを伸ばすために、まず、何をすることにしましたか。

1. おしゃれなカメラケースをプレゼントする。
2. ただで講座が受けられる特典をつける。
3. カメラの一日貸し出しサービスを始める。
4. 写真の展示会を開いて宣伝する。

3番：ラジオでアナウンサーが変身ヒーロー番組について話しています。

アナウンサー：子供たちが好きな変身ヒーロー番組といえば、いろいろありますが、赤、青、黄色など、若者たちがそれぞれ色別のヒーローに変身して敵を倒す戦隊シリーズは今も続き、人気は衰えることがありません。中でも、15年前に大流行した四レンジャーはメンバー4人のキャラクター設定がそれまでとは全く違う個性的なもので、当時、大人気でした。4レンジャー以前の番組では、赤のヒーローといえば、情熱的なリーダー。青のヒーローはクールで知的なタイプというのが定番でした。ところが、4レンジャーでは、なんと赤がクールな頭脳派で、少し臆病者に。そして、青は明るいお調子者と、いずれもヒーローらしからぬキャラクターに。更に、緑は身体能力こそメンバー随一だけれど、わがままで、わが道を行くタイプ。そんな三人をまとめあげ、リードするのが、情熱にあふれた黄色とそれまでの色のイメージを覆すキャラクターに子供たちは魅了されました。

男：四レンジャー、子供のころ、見てたなあ。シリーズの中でも、ダントツで一番面白かったんだよ。

女：私も見てた。なんと言っても、リーダーの大ファンだったなあ。情熱的で、格好よかった。知的なタイプのヒーローも好きだったが、気が弱いのがね。

男：僕は断然、お調子者のヒーロー。あんなタイプのヒーロー、めったにいないから、面白くて。周りの友達もリーダーか、運動神経抜群で、アクションが格好いいヒーローに憧れてたけどね。

女：私の周りでもそうだった。懐かしいね。

質問1：女の人、四レンジャーで、どの色のヒーローが一番好きでしたか。

質問2：男の人、四レンジャーで、どの色のヒーローが一番好きでしたか。

